

営農類型別経営統計調査票

(法人経営体用)



「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目 次

はじめに

「農業簿記11」での部門設定と帳票出力・・・・・・・・・・ 1～6

調査票の記入方法

1：現況（共通項目）・・・・・・・・・・	7
2：貸借対照表①、②・・・・・・・・・・	8～11
3：投資と資金調達の状況・・・・・・・・・・	12、13
4：損益計算書・・・・・・・・・・	14、15
5：事業経費 （製造原価報告書、販売費及び一般管理費）・・・・・・・・	16～21
6：給与の状況 土地面積・・・・・・・・・・	22、23
7：主要農業固定資産の状況・・・・・・・・・・	24、25
8：生産概況及び農畜産物収入 ①、②・・・・・・・・・・	26～29
9：農作業受託収入等・・・・・・・・・・	30、31
11：制度受取金、積立金等・・・・・・・・・・	32、33
12：労働の概要①、②・・・・・・・・・・	34、35
13：農業生産関連事業収支・・・・・・・・・・	36～41

<記入上の注意事項>

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。

※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での部門設定と帳票の出力

「農業簿記11」のデータを用いて、営農類型別経営統計（法人経営体用）の調査票を記入する場合、ソフトの印刷機能を用いて「決算書」を印刷し、それを元に調査票に必要な情報を転記します。

【部門設定】

部門設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されます。後から設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 ダイレクトメニュー画面
- 2 「初期」を選択
- 3 「基本」を選択
- 4 「部門設定」を選択

（詳細は、農業簿記11 「導入マニュアル」を参照してください）

【調査票の記入に必要な帳簿】

調査票の記入には、次の帳票が必要です。

- 「決算書」（貸借対照表）
- 「決算書」（損益計算書）
- 「決算書」（製造原価報告書）
- 「法廷三帳簿」（労働者名簿、賃金台帳、出勤簿）
- 「農地基本台帳」等

部門設定

複数の作物（稲作、畑作、家畜等）を作付・飼育している場合は、予め部門設定をしておくことで集計がしやすくなります。

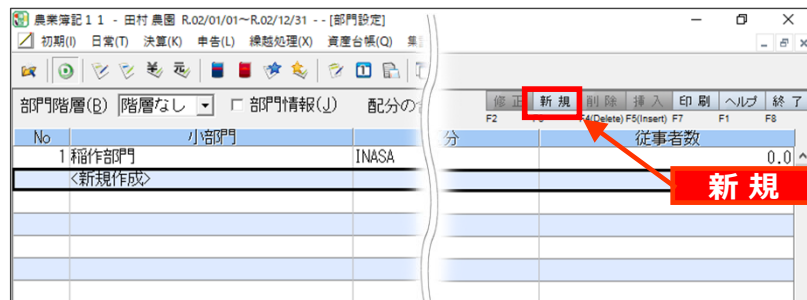
ここでは、あとから部門を追加設定する場合の手順を説明いたします。

設定 1：ソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。
ここから、横【初期】⇒縦【基本】⇒メニュー【部門設定】と進みます。



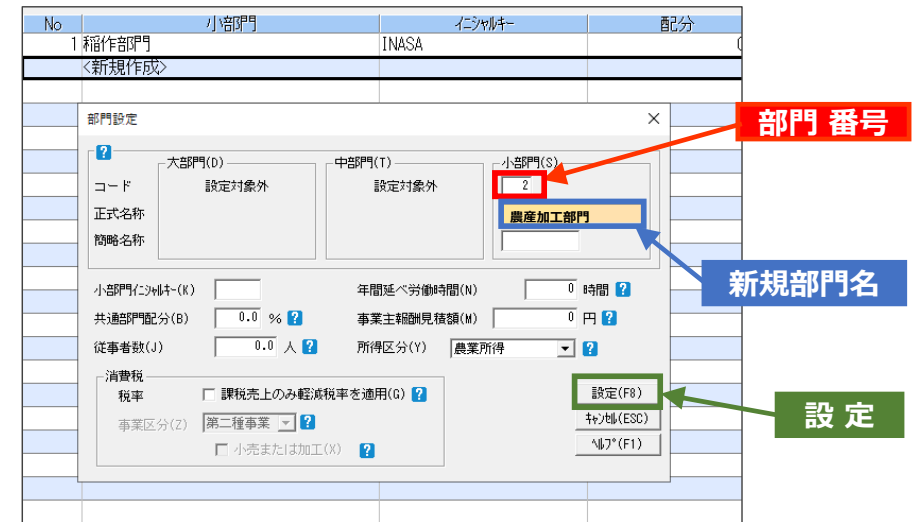
設定 2：新規部門設定

「設定 1」でメニュー【部門設定】を開くと、下記の画面が開きます。
そこから「新規」のタブをクリックすると「部門」の入力画面が表示されます。



設定 3：「部門設定入力フォーム」の画面で、「部門番号」と「新規部門名」を入力し「設定」をクリックします。

※ ここではあらかじめ、部門 1 が「稲作部門」に設定されているので、新規作成の部門番号は「2」とします。



設定 4：新たに「1 稲作部門」の下に「2 農産加工部門」が追加されました。
これで、新規部門作成は完了です。



※ ここでは「農産加工部門」を設定してみました。それぞれ必要な部門を作成してください。

調査票の記入に必要な帳票の出力（印刷）

- 初めに、決算報告書を出力しておきます。

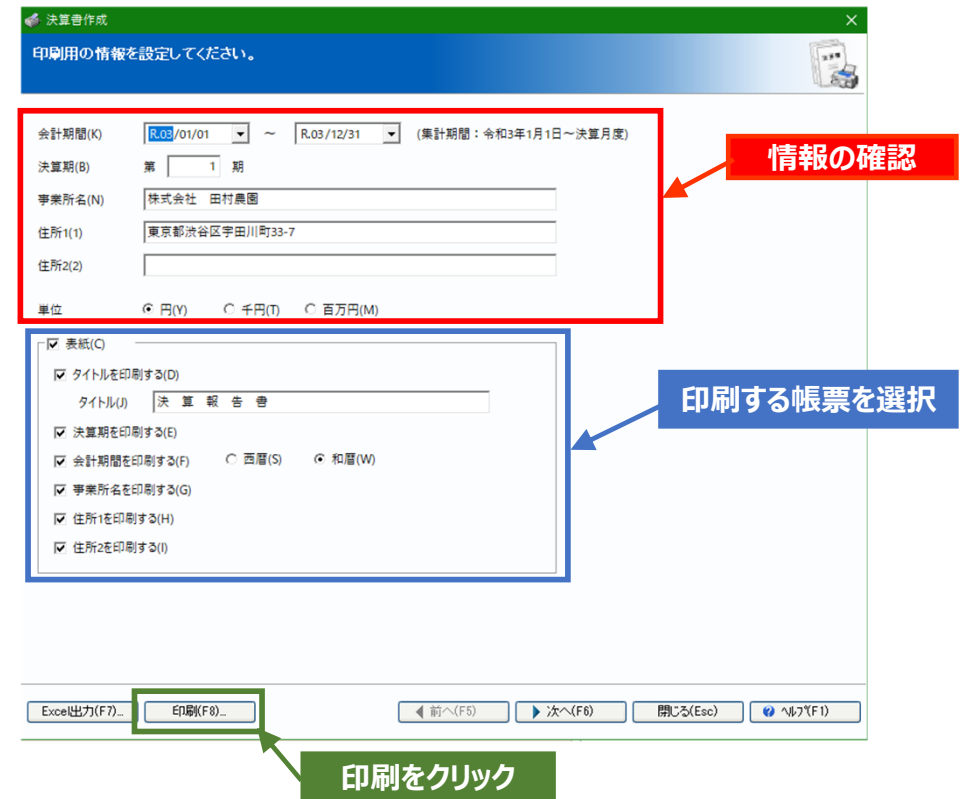
【決算書】の出力方法

設定 1：ソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。
 ここから、① **横タブ【決算】** ⇒ ② **縦タブ【決算書等】** ⇒ ③ **メニュー【決算書】**と進めます。



設定 2：決算書の「集計条件」の設定
 「設定 1」で**メニュー【決算書】**を開くと、上図のメニューが開きます。
 ここで「計算期間」を確認し**「集計開始」**のボタンをクリックします。

設定 3：設定 2で「集計開始」をクリックすると、下図（決算書作成）の設定画面が開きますので、確認、チェックを入れて決算書を出力してください。



はじめに

帳票から記入可能な調査項目

調査票の項目

【調査票の調査項目】

- 1 調査票は、【1】～【13】の項目に分かれています。
- 2 この中で、出力データから記入（転記）可能なものは、下記「**赤文字**」の項目になります。
ただし、金額以外の（作付面積、生産量、人数、農業割合）などの数値は、「農業簿記11」では対応しておりませんのでご注意ください。
- 3 これら以外の項目については、「農業簿記11」から出力した帳票からは、転記できません。

<参考>

【1】現況（共通項目）

【2】貸借対照表

【3】投資と資金調達の状況

【4】損益計算書

【5】事業経費

【6】給与の状況

【7】土地面積

【8】主要農業固定資産の状況

【9】生産概況及び農畜産物収入

【10】農作業受託収入等

【11】制度受取金・積立金等

【12】労働の概要

【13】農業生産関連事業収支

出力した帳票から転記します。

出力した帳票から転記します。

出力した帳票から転記します。

<調査票への記入にあたって>

記入が必要ない項目や、金額が発生しなかった項目には、「－」（バー）等を書き込んでおくと、書き漏れを防ぐことができます。

調査票
の記入

調査票 3 ページ

【1】現況（共通項目）

調査票 P3

1	家族による 経営である	はい	いいえ	1で「はい」の方は、 右の設問にもお答え ください。	8	集落営農 であ	はい	いいえ
2	認定農業者である	はい	いいえ					
3	決算期間の期末月		月					
4	農業研修生の 受け入れがある	はい	いいえ	4で「はい」の方は、 右の設問にもお答え ください。		農業研修生	人数（人）	
5	法人化した 年次（西暦）		年		9	外国人技能実習生		
6	経営主	性別	男	女	10	日本人研修生		
7		年齢		歳				

「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農を言います。

「概況」共通項目

「農業簿記11」では対応しておりません。
営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】貸借対照表 ① 資産計、流動資産、固定資産、繰延資産

調査票 P4

1 資産の状況について

(1) 資産計

勘定科目	説明	金額 (円)
資産計	資産の合計 (流動資産と固定資産の合計)	40000000

(2) 流動資産

勘定科目	説明	金額 (円)
流動資産合計	流動資産の合計	14300000
現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金	5500000
売掛金	農産物販売金額の未収金等、通常取引による営業上の未収金	5200000
有価証券	国債、地方債、株券	400000
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材	3000000
うち農産物	農産物	
その他	上記以外の流動資産	200000

(3) 固定資産

勘定科目	説明	金額 (円)	農業割合 (%)
固定資産合計	固定資産額の合計	24700000	
有形固定資産	有形固定資産の合計	23300000	
動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑	16000000	
自動車・農機具	自動車、トラクター、乾燥機、もみすり機	1000000	
建物・構築物	建物、施設、畜舎	2000000	
土地	農地、付属施設	3800000	
その他	建設仮勘定、育成仮勘定、工具器具備品	500000	
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権	200000	
投資等	農協出資金、長期前払金、長期貸付金、投資証券、補償金	1200000	

(4) 繰延資産

勘定科目	説明	金額 (円)
繰延資産	創立費、開業費など (固定資産に整理している場合は、その金額を記入。)	1000000

貸借対照表 (資産の部)

貸借対照表 (資産負債調)

資産の部	1月 1日 (期首)	12月 31日 (期末)
現金	0	500,000
普通預金	0	5,000,000
定期預金	0	0
その他預金	0	0
売掛金	0	2,000,000
未収入金	0	3,000,000
立替金	0	200,000
棚卸資産	0	3,000,000
有価証券	0	400,000
貸付金	0	200,000
育成中の果樹・牛馬	0	16,000,000
未収種農産物	0	0
自動車・農機具等	0	1,000,000
建物・構築物	0	2,000,000
土地	0	3,800,000
その他	0	500,000
無形固定資産	0	200,000
投資その他の資産	0	1,200,000
繰延資産	0	1,000,000
	0	0
	0	0
	0	0
事業主貸		0
合計	0	40,000,000

貸借対照表の作成を想定してソフトを使用されている方は、出力した帳票からそのまま転記することができますので、任意勘定科目欄を含めて転記してください。

ここでは、予め「農業簿記 11」の【初期】⇒【詳細】⇒【決算書科目設定】と進み、調査票記入に必要な勘定科目及び補助科目を設定しておきます。

★ 固定資産については、貴法人における事業のうち、農業の割合を記入してください。

農業割合 (%)

調査票に記入する「農業割合 (%)」の項目ですが、「農業簿記 11」では対応しておりません。

営農類型別経営統計調査票 (法人経営体用) 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

以下、10～20ページ、同様です。

(注) 「元入金」は、「期首の資産の総額」から「手記の負債の総額」を差し引いて計算します。

【2】貸借対照表 ② 負債計、流動負債、固定負債、純資産

調査票 P 5

1 負債及び純資産の状況について

(1) 負債計

勘定科目	説明	金額 (円)	農業割合 (%)
負債計	負債の合計 (流動負債と固定負債の合計)	3 0 0 0 0 0 0 0	

(2) 流動負債

勘定科目	説明	金額 (円)
流動負債	流動負債の合計	8 0 0 0 0 0 0
買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計	4 5 0 0 0 0 0
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金	2 5 0 0 0 0 0
その他	上記以外の金額	1 0 0 0 0 0 0

(3) 固定負債

勘定科目	説明	金額 (円)
固定負債	固定負債の合計	2 2 0 0 0 0 0
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金	2 1 0 0 0 0 0
その他	長期借入金以外の固定負債	1 0 0 0 0 0 0

(4) 純資産

勘定科目	説明	金額 (円)
純資産	資産計 - 負債計の金額	1 0 0 0 0 0 0
資本金・出資金	資本金、出資金	4 0 0 0 0 0 0
資本剰余金	資本準備金、資本金額減少差額、資本準備金取崩額	2 0 0 0 0 0 0
利益剰余金	利益準備金、繰越利益剰余金、農業経営基盤強化準備金の積立金	4 0 0 0 0 0 0
その他	上記以外の純資産	

貸借対照表 (負債の部)

(資産負債調) (令和 3 年 12 月 31 日現在)

負債・資本金の部			
1日	科目	1月 1日 (期首)	12月 31日 (期末)
00,000	買掛金	0	1,600,000
00,000	借入金	0	2,500,000
00,000	未払金	0	800,000
00,000	未払法人税等	0	1,200,000
00,000	未払消費税等	0	900,000
00,000	前受金	0	0
00,000	預り金	0	200,000
00,000	賞与引当金	0	800,000
00,000	長期借入金	0	21,000,000
00,000	退職給付引当金	0	1,000,000
00,000			
00,000	資本金	0	4,000,000
00,000	資本剰余金	0	2,000,000
00,000	利益剰余金	0	4,000,000
00,000		0	0
00,000		0	0
00,000		0	0
00,000		0	0
00,000		0	0
00,000		0	0
00,000		0	0
00,000	事業主借	0	0
00,000	元入金	0	0
00,000	青色申告特別控除前の所得金額		0
00,000	合計	0	40,000,000

を差し引いて計算します。

貸借対照表の作成を想定してソフトを使用されている方は、出力した帳票からそのまま転記することができますので、任意勘定科目欄を含めて転記してください。

ここでは、予め「農業簿記11」の【初期】⇒【詳細】⇒【青色申告科目設定】と進み、「負債の部」に「長期借入金」、「退職給付引当金」等を、「資本の部」に「資本金」、「資本剰余金」、「利益剰余金」などの科目を設定しておきます。

<長期借入金とは>

農業経営のための金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金の合計額を記入してください。
「農業経営基盤強化資金（スーパーL）」、「経営体育成強化資金」、「担い手育成農地集積資金」、「農業改良資金」、「農業経営負担軽減支援金」、「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。

【3】投資と資金調達の状況

調査票 P 8

1 経営する事業への投資の状況について

勘 定 科 目	説 明	金 額 (円)	農業 割合 (%)
土 地	土地の購入金額	億 万 千 百 十	
建 物 ・ 構 築 物	建物・構築物の購入金額		
自 動 車 ・ 農 機 具	自動車・農機具の購入金額		
植 物 ・ 牛 馬	植物・牛馬の購入金額（資産形成のものに限る。）		

2 事業経営のために1年間（決算期間）に借り入れた金額

勘 定 科 目	説 明	金 額 (円)	農業 割合 (%)
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内の借入金	億 万 千 百 十	
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金		

3 決算日時点の貴法人に対する出資者数と出資金額について

区 分	計	個 人 うち 非 従 事 者	農 協 ・ 農 協 連 合 会	関 連 会 社	そ の 他 団 体
出 資 者 数 (人、団体又は会社数)		人	人	団体	社 団 体
		3	1		1
出 資 金 額	万円	万円	万円	万円	万円
	2000	1200	400	800	

投資（固定資産の購入）

この項目は、1年間（決算期間）の事業とそのうち農業への投資を把握する項目です。

それぞれの項目について事業に投資した金額、またそのうち農業については、土地の農地割合、建物等の使用割合、農機具等の稼働割合など、項目ごとに適切な割合で記入してください。

投資における販売に供するための動物等の扱い

肥育用として購入した牛馬は、肥育・育成してそれ自体を販売する目的で飼育することから資産とならないため、「植物・牛馬」に含まれません。

資金調達（借入金）

この項目は、1年間（決算期間）の事業とそのうち農業への資金調達を把握する項目です。

事業用に借り入れた金額、またそのうち農業に使用した分については、農業用融資の金額を、事業全体から割り出し、その割合を記入してください。

<長・短期借入金とは>

「短期借入金」とは・・・農業経営のために金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年以内の借入金を言います。
(期末における金融機関貸越、家族借入も含まれます)

「長期借入金」とは・・・農業経営のために金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金を言います。期末における金融機関貸越、家族借入も含まれます)
「農業経営基盤強化資金（スーパーL）」「経営体育成強化資金」「担い手育成農地集積資金」「農業改良資金」「農業経営負担軽減支援金」「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。

決算日時点の貴法人に対する出資者数と出資金額

この項目は、出資者及び出資金額を把握する項目です。

出資者数とその出資金額を法人の定款や株主名簿等に記載されている内容を参照して、調査票に記入してください。

【4】損益計算書

調査票 P4

1 売上高などについて

(1) 売上高、売上原価、販売費及び一般管理費

勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)
売上高	事業の売上高	320,000,000	
売上原価 (① + ② + ③ + ④ - ⑤)	商品の仕入原価、製造原価	280,000,000	
期首商品・製品棚卸高(①)	商品・製品の期首在り高	1,600,000	
当期商品仕入高(②)	商品の当期における仕入高	2,000,000	
当期製造原価(③)	製品の当期における製造原価	250,000,000	
生物売却原価(④)	減価償却資産の売却直前の帳簿価格	1,200,000	
期末商品・製品棚卸高(⑤)	商品・製品の期末在り高	1,800,000	
販売費及び一般管理費	販売に係る経費、法人全体を運営、管理に要した費用	5,000,000	

(2) 営業外収益、営業外費用

勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)
営業外収益	営業活動以外の経常的収益	3,000,000	
営業外費用	営業活動以外の経常的費用	1,000,000	
支払利息・割引料	借入金の支払利息、手形譲渡損、割引料	500,000	

(3) 特別利益、特別損失、当期純利益

勘定科目	説明	金額(円)
特別利益	臨時収益、固定資産売却益等	1,100,000
特別損失	臨時損失、固定資産売却損等	1,300,000
当期純利益	税引前当期純利益 - 法人税等の金額	500,000

決算書 損益計算書

調査票「収入金額」については、「農業簿記11」の決算書(損益計算書)と同じ書式になっていますので、そのまま転記してください。

損益計算書

(単位:円)

自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日

【売上高】		
売上高 計		32,000,000
【売上原価】		
期首商品・製品棚卸高		1,600,000
当期商品仕入高	2,000,000	
生物売却原価	1,200,000	3,200,000
当期製品製造原価		25,000,000
合 計		29,800,000
期末商品・製品棚卸高		1,800,000
売上原価 計		28,000,000
売上総利益		4,000,000
【販売費一般管理費】		
販売費・一般管理費計	5,000,000	5,000,000
営業利益		-1,000,000
【営業外収益】		
営業外収益 計		3,000,000
【営業外費用】		
営業外費用 計		1,000,000
経常利益		1,000,000
【特別利益】		
特別利益 計		1,100,000
【特別損失】		
特別損失 計		1,300,000
税引前当期利益(損失)		800,000
当期 利益 (損失)		500,000

★ 売上原価における農業割合について

貴法人における事業のうち、農業の割合を記入してください。

・ 農業生産関連事業（農産加工、観光農園など）

・ 農外事業（林業、水産業、商工鉱業、サービス業など）

を行っている場合は、出力した「部門別実績表」から割合を記入してください。

【5】事業経費（製造原価報告書）①

調査票 P4

1 次の1及び2について該当するものを記入してください。

1	農業以外の事業は行っていない。	はい	いいえ
2	飼料補填金収入を飼料費で控除している。	はい	いいえ

2 1の1で「はい」を選んだ方は、製造原価報告書などを参照して、次の表に・・・

(1) 製造原価報告書

勘定科目	説明	金額（円）	農業割合（%）
材料費	期首材料棚卸高	160,000	
	種 苗 費	480,000	
	素 畜 費	1,080,000	
	肥 料 費	360,000	
	飼 料 費	200,000	
	農 薬 費		
	敷 料 費		
	燃 油 費		
	諸 材 料 費	280,000	
労 務 費	期末材料棚卸高	280,000	
	賃金手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費	17,000,000	
	うち作業用衣料費		
外 注 費	作業委託費	84,000	
	診療衛生費		
	預 託 費		
	ヘルパー利用費		
ほ 場 管 理 費	けい・畔の草刈り、水管理・肥培管理作業などの農作業委託料		

農業以外の事業

農業以外の事業とは、

- ① 農業生産関連事業（農産加工、観光農園など）
- ② 農外事業（林業、水産業、商工鉱業、サービス業など）をいいます。

製造原価報告書

調査票「事業経費」については、「農業簿記11」の決算書（製造原価報告書）を参照して転記します。

製 造 原 価 報 告 書

(単位：円)

自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日

【材料費】	
首期材料棚卸高	160,000
種苗費	480,000
肥料費	1,080,000
農薬費	360,000
諸材料費	200,000
合計	2,280,000
期末材料棚卸高	280,000
材料費 計	2,000,000
【労務費】	
給料手当	12,400,000
賞与	3,800,000
賞与引当金繰入	500,000
法定福利費	200,000
福利厚生費	100,000
労務費 計	17,000,000
【製造経費】	
農具費	500,000
【外注費】	
作業委託料	84,000
外注費計	84,000
【仕掛品】	

【5】事業経費（製造原価報告書）②

調査票 P5

(1) 製造原価報告書（続き）

勘定科目		説明	金額（円）					農業割合（％）
製造経費	農具費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費	億	万	千	百	十	
	修繕費	建物、農機具、農業に用いた車両等の維持、修繕に要した経費		5	0	0	0	0
	動力光熱費	生産用の電気、水道料金やガソリン、軽油などの燃料費		9	9	0	0	0
	共済掛金	作物や農業用施設の共済掛金、価格補填負担金、とも補償提出金		9	6	0	0	0
	減価償却費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費		4	0	0	0	0
	賃借料・地代	地代、家賃、賃借料、穀物等の検査料、受託農産物精算費		1	2	0	0	0
	土地改良費	土地改良負担金、土地改良賦課金、水利費		1	5	5	0	0
	租税公課	生産用の固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金		2	2	0	0	0
その他		上記以外の経費		1	1	6	0	0
仕掛品棚卸高増減		仕掛品（未収穫農産物、販売用動物等）の期首在り高－期末在り高の金額	- 20000					
育成費振替高		育成中の生物に対する当期の支出として原価から控除する額						

★「仕掛品棚卸高増減」とは、右表①と②の差分になります。
 ここでは（①－②）の値で、
 ① 60,000－② 80,000 ＝ －20,000 となります。

製造原価報告書（製造経費）

調査票「収入金額」については、「農業簿記11」の決算書（製造原価報告書）を参照し転記してください。

製造原価報告書

(単位：円)

自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日

【材料費】		
首期材料棚卸高	160,000	
材料費 計	2,000,000	
【労務費】		
給料手当	12,400,000	
労務費 計	12,400,000	
【製造経費】		
農具費	500,000	
修繕費	840,000	
動力光熱費	960,000	
共済掛金	400,000	
減価償却費	1,200,000	
地代家賃	800,000	
リース料	750,000	
土地改良費	220,000	
車両費	150,000	
作業衣料費	56,000	
消耗品費	42,000	
委託費	84,000	
雑費	18,000	
製造経費 計	6,020,000	
当期総製造費用	25,020,000	
【仕掛品】		
首期仕掛品棚卸高	60,000	①
合計	25,080,000	
期末仕掛品棚卸高	80,000	②
当期製品製造原価	25,000,000	

【5】事業経費（製造原価報告書）② 続き

調査票 P5

(2) 販売費及び一般管理費

勘 定 科 目	説 明	金 額 (円)	農 業 割 合 (%)
人 件 費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、賞与引当金繰入額、福利厚生費	307,000	
荷 造 運 賃 費	出荷用包装材料の購入費用、製品の運送費用、JAや市場の販売手数料	70,000	
う ち 市 場 手 数 料	卸売市場の手数料	40,000	
交 際 費	取引先の接待、供応、慰安、贈答のため支出する費用	160,000	
車 両 費 ・ 修 繕 費	販売管理用固定資産の修理費用、車両費		
う ち 燃 料 費	車両費に含まれている自動車燃料代		
減 価 償 却 費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費		
地 代 家 賃	販売管理用土地・建物の賃借料		
支 払 保 険 料	販売管理用固定資産の保険料	240,000	
租 税 公 課 ・ 諸 会 費	印紙税、消費税、諸会費	300,000	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	貸倒引当金の当期の繰入額		
動 力 光 熱 費	販売や管理のために使用した電気・水道料金など	90,000	
そ の 他	上記以外の販売費及び一般管理費	440,000	

1. 「荷造運賃・販売手数料」について

- ア・「農業簿記11」上で任意勘定科目記入欄に「市場手数料」が出力されるよう設定している方は、その金額を★「うち、市場手数料」欄にそのまま記入してください。
- イ・「農業簿記11」上で「荷造運賃手数料」欄に「市場手数料」が出力されるよう設定している方は、その金額を「荷造運賃手数料」にそのまま記入してください。
- ※市場手数料には、農協等の販売手数料も計上してください。

2. 「交際費」について

- ア・「農業簿記11」上で任意勘定科目記入欄に「交際費」が出力されるよう設定している方は、その金額を「交際費」にそのまま記入してください。
- イ・「農業簿記11」上で「雑費」欄に「交際費」を含めるよう設定している方は、「雑費」の中から交際費分を算出して、「交際費」欄に記入してください。算出が出来ない場合は、「その他」の欄に合算して記入してください。

決算報告書（販売費及び一般管理費）

決算報告書（販売費及び一般管理費）と同じ書式となっていますので、そのまま転記してください。

販売費及び一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日

販売費・一般管理費計	5,000,000	
役員報酬	2,400,000	
法定福利費	220,000	
福利厚生費	150,000	
退職給付引当金繰入れ	300,000	3,070,000
荷造発送費	300,000	
販売手数料	400,000	700,000
研修費	60,000	
租税公課	300,000	
水道光熱費	90,000	
通信交通費	60,000	
保険料	240,000	
接待交際費	160,000	
消耗品費	100,000	
管理諸費	180,000	
雑費	40,000	
合計	5,000,000	

(その他)

右ページ「(2) 販売費及び一般管理費」において、調査票の各勘定科目に該当しない場合は、「その他」にまとめて記入してください。